

平成 30 年 3 月 6 日

各 位

公益社団法人 全日本病院協会
会 長 猪 口 雄 二
医 療 従 事 者 委 員 会
委員長 井 上 健一郎

平成 30 年度「第 17 回病院事務長研修コース」の開催について

平素より全日本病院協会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度当協会医療従事者委員会では今年度に引き続き、病院事務長研修コースを開催する運びとなりました。

当研修は病院事務長を対象として毎年開催しており、今回の開催で第 17 回目を迎えます。カリキュラムは、医療行政の動向や医療会計制度、院内コミュニケーション、定員管理と業務再設計、経営計画策定、共通課題検討など多岐に亘り、約 8 ヶ月（月 1 単位、全 8 単位）をかけて研修を行い、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

また当研修を通じて習得した成果を最大限に活用し、上司の皆様とのコミュニケーションの一助とする為に、受講生から上司の方に対する受講報告及びプレゼンテーション報告を計 4 回予定しております。上司の方におかれましては、お手数をお掛けしますが、受講生に対するコメントの記載をお願いしております。

昨年度、受講いただいた病院の理事長・院長先生方からは、「在職中の問題に留まらず、次世代へ向けての視点が持てるようになった。」（かしま病院 理事長 中山大先生）、「病院経営や組織管理に対する考え方が一段と鋭くなった。」（都城市郡医師会病院 院長 重平正文先生）、「分析し、評価し、将来構想を描き出すといった一連の作業を完結させるスキルやトップマネージャーとしての視点が身についた。」（鳥取生協病院 専務理事 林憲治様）と、当研修会の評価をいただいております。

尚、詳細につきましては、今回同封いたしますパンフレットをご高覧いただき、是非ともご参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加をご希望の方は、**5 月 7 日（月）まで**に F A X にて参加申込書をご送付ください。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

<p><お問い合わせ先> 公益社団法人全日本病院協会 病院事務長研修コース担当 上田・向井 〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町 2-8-8 住友不動産猿樂町ビル 7 階 TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444 ホームページ http://www.ajha.or.jp/</p>
--



第17回（平成30年度）

病院事務長研修コース （病院管理士認定）

受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

受講要件

- 受講者は現在所属している施設での職歴1年以上の病院事務長、またはこれに準ずる職歴2年以上の経験を有する方で、理事長・院長が適格と認めた方であること（各施設1名）。
- 受講者は研修会において自院の経営健全化計画を作成する為、自院の経営指標や財務諸表及び経営情報を研修会内において開示が可能であり、理事長・院長に経営戦略を提言できること。
- 受講者は管理者が当研修会の受講を認めた者であること。

開講期間／平成30年5月～平成31年1月

全8単位、各単位2～3日間、1日目13時～最終日15時まで

受講料金／全日本病院協会 会員施設職員 1ヵ年・全8単位 420,000円（税込：453,600円）

全日本病院協会 非会員施設職員 1ヵ年・全8単位 520,000円（税込：561,600円）

※一部の宿泊費及び一部の食事代を含みます。

病院管理士認定について／

本研修では、以下の要件を満たした方を病院管理士として認定いたしております。

○評価試験に合格すること。

○全8単位中、7単位以上出席すること。欠席は1単位のみ可としますが、第6単位～第8単位の受講は必須とします。

受講定員／48名

研修会場及び宿泊施設

第1単位 ホテルヴィラフォンテーヌ東京汐留

〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2汐留住友ビル内 TEL03-3569-2220

【アクセス】○汐留駅(ゆりかもめ)改札を出て右方向へ、歩行者デッキを通り、汐留住友ビル2F入口より徒歩1分

○汐留駅(都営大江戸線)ゆりかもめ汐留駅方面の改札を出て10番出口方向へ進み、汐留住友ビル地下入口より徒歩1分

○新橋駅(JR、銀座線、都営浅草線)汐留口より出て、シオサイト方向(地下1階)へ進み、大江戸線汐留駅10番出口方向へ徒歩6分

第2単位～第8単位 全日本病院協会 大会議室

〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8住友不動産猿樂町ビル7階 TEL03-5283-7441

【アクセス】○JR線・都営三田線「水道橋駅」東口より徒歩4分

○半蔵門線・都営新宿線・都営三田線「神保町駅」出口A4より徒歩8分

○JR線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩10分

○都営三田線「水道橋駅」出口A6より徒歩3分

※第2単位以降に宿泊が必要な場合は、各自でご手配ください。

※第1単位の宿泊は禁煙室のみとなります。

申込締切／平成30年5月7日（月）

※定員に達し次第、受付を終了させていただく場合がございます。



公益社団法人 全日本病院協会

評価試験合格者には、全日本病院協

事務長基本講座

第1単位

平成30年5月19・20日
(2日間)

■病院経営概論

医療行政の動向を踏まえ、病院経営管理者としての事務長の果たすべき役割を認識します。また、事務長としての役割を全うするために必要な論理的思考法を学びます。加えて、各事務長間の交流を深め、相互研鑽を図ります。

■内容：医療制度改革と病院の対応方向、事務長に求められる役割と能力、よい事務長の条件、問題解決の思考プロセス、病院経営実態調査結果に基づく現状の問題点、マネジメント課題 他

第2単位

平成30年6月16・17日
(2日間)

■院内コミュニケーション

院内コミュニケーションの円滑化と職場の活性化に向け、事務長として必要な『コーチングとファシリテーションの基礎と応用』について、演習を中心に習得します。縦割り組織の中での有効なコミュニケーションのスキルを身につけます。

■内容：マネージャーに求められる人間関係構築スキル、聴き方、コミュニケーション、職員の動機づけと職場活性化、迷惑行為・クレーム対応、コーチング、会議設計とファシリテーション 他

第3単位

平成30年7月6・7・8日
(3日間)

■経営戦略と組織管理

経営戦略の体系と戦略実現のための組織管理のあり方を学びます。病院の経営を考えるときに、最上位の経営理念から、ビジョン、戦略、経営計画という戦略体系の流れを理解します。そして、構築した戦略を実現するための組織の設計と統制の方法を学びます。

■経営理念、行動規範、ビジョン、経営戦略、事業戦略、ビジネスモデル、経営計画、業績管理、組織設計、ホールディング化、方針管理、部門別日常業務管理、事業承継、BCP 他

第4単位

平成30年8月10・11・12日
(3日間)

■病院における財務会計と管理会計

病院経営の基礎となる医療会計制度の基本を学びます。事務長に求められる財務の基本を学び、財務指標を通じて、病院経営の実態を理解して、改善すべき点を特定できるようにします。具体的には、制度会計の分析を通じて病院の問題点の抽出と改善検討を行います。

■内容：財務諸表の構造の理解、財務3表(PL、BS、CS)の関連、財務指標の構造と分析視点、損益分岐点分析、予算管理、投資対効果評価、診療科別収支計算 他

第5単位

平成30年9月21・22・23日
(3日間)

■人材マネジメントと病院管理機能

事務・管理部門で求められる病院の管理機能について習得します。人材マネジメントの全般、患者の獲得を目指したマーケティングの基本、就業規則や病院法務、リスク管理や危機管理、病院としての広報について学びます。

■内容：定員設定、人材育成、人事評価、等級制度、賃金制度、ナレッジマネジメント、ABC人材マネジメント、広報、法務3類型(治療法務・予防法務・戦略法務)、就業規則 他

第6単位

平成30年10月20・21日
(2日間)

第7単位

平成30年11月10・11日
(2日間)

■総合テスト

事務長基本講座の第1単位から第5単位までの内容の適用力を確認するためのテストを行います。テストには、単位別テストと全単位全体の適用力を確認する総合テストの2種類があります。

第8単位

平成31年1月18・19・20日
(3日間)



●講師は変更になる場合があります。

●全8単位修了者には修了証、評価試験合格者には病院管理士の認定証を発行いたします。

会が『病院管理士』の認定証を発行

病院改革計画策定実習

■病院改革の基本的考え方

病院経営改革の基本構成とその策定方法を学びます。将来構想を実現する課題解決と現在の問題を解決するためのプロセスを理解します。様々な場面での議論を活発にして、意義あるものにするためのディベート視点を実習で学びます。

- ・病院改革の考え方
- ・問題解決の基本
- ・課題解決の基本
- ・ディベート実習

■病院将来構想

自院の将来におけるありたい姿を構想します。ありたい姿の構想にあたり、医療や介護を取り巻く環境の情勢を数値で認識します。構想の検討にあたり、医療法人として目指す方向、医療法人における自院の位置づけを踏まえ、戦略の基本方向を設定します。

- ・医療の環境情報
- ・介護の環境情報
- ・法人の将来構想
- ・病院の将来構想

■病院外部環境分析

自院において構想した医療法人として目指す方向、医療法人における自院の位置づけを踏まえ、自院を取り巻く診療圏における人口の動向や競合施設の動向を定量的に分析します。人口動態や社会環境変化などのマクロ環境と患者の動態や診療圏、競合施設などのミクロ環境を分析します。

- ・法人・病院将来構想
- ・組織構想
- ・マクロ/ミクロ環境
- ・診療圏分析

■病院内部環境分析

自院の財務指標を統計値やグループメンバーの病院と比較して、分析します。自院の収支の実態を構造的に整理して、収支改善の余地を検討します。また、病院経営に影響を与えるマクロとミクロの環境を分析します。自院の内部環境を、病院機能と経営資源、組織風土の3側面から分析します。

- ・財務指標分析
- ・経営機能分析
- ・経営資源分析
- ・組織風土分析

■課題設定

法人の将来像、その将来像における病院の将来像を明確にします。病院の将来像を実現するための課題を整理します。マクロやミクロの環境分析の結果から導き出される課題や診療圏分析によって導き出される課題も整理します。将来構想や整理した課題を目で見えてわかるように整理します。

- ・戦略基本方向設定
- ・将来構想実現課題
- ・環境分析課題
- ・将来構想図解化

■病院将来構想の発表と共通課題設定

自院の将来構想、戦略の基本方向、その実現のための課題で構成する自院の改革計画について相互発表を行い、代表者は全体発表します。全受講者の課題の中から、共通する課題を8つ選定して、課題別に班を編成します。以後は、共通課題を検討していきます。

- ・病院構想全体発表
- ・医療行政最新動向
- ・共通課題の設定
- ・共通課題の班編成

■改革計画提出と共通課題検討

共通課題は、受講者全員が自院に持ち帰って、活用できるように検討し、整理します。そのため、病院の種別や特性を踏まえた課題の解決方法策を幅広く考えます。加えて、第三者がみれば、共通課題をどのように解決すればよいか分かるように整理します。

- ・改革計画提出
- ・共通課題の構造化
- ・汎用的解決策立案
- ・わかりやすい資料構成

■病院共通課題の全体発表

1日目は、病院共通課題に関する全体討議を行い、課題解決策を汎用的なものに仕上げ、さらに、第三者が見ても分かるようにします。
2日目は、共通課題の検討内容を全員に発表して、講師の講評に基づいて解決策の幅広い視点を学びます。

- ・共通課題の仕上げ
- ・共通課題の発表
- ・共通課題の共有

第17回 病院事務長研修コース 参加のお勧め (病院管理士認定)

公益社団法人 全日本病院協会

会 長 猪 口 雄 二

全日本病院協会は、国民に安全で質の高い医療を医療人が誇りと達成感を持って提供できるような環境整備を行う事を目的に活動しております。

さて、平成30年度は、地域医療構想を含む第7次医療計画が開始することに加え、診療報酬・介護報酬の同時改定、介護療養病床の受け皿となる介護医療院の創設等、病院経営に直面する諸問題に加え、医師の働き方改革、専門医制度等の社会の変容に応じた新たな動きもあり、病院にとって存続に係る大きなテーマが目白押しです。また、全国各地で今まさに推進されている地域包括ケアシステムの構築は、地域に密着した中小病院にとっては、極めて重要な問題であり、多くの会員病院が主体的に関わっていく必要があると考えています。

このように医療機関を取り巻く状況が大きく変化していく最中においては、医療機関の経営の一翼を担う事務長職の役割が非常に重要です。事務管理部門の長である事務長職には、当該業務に係る必要な基本知識はもとより、情報や質の管理にいたる幅広い分野にわたっての見識とマネジメントスキルが求められ、地域における医療提供の将来像を見すえた経営改革を提起し、経営計画の策定、そしてそれを実際に現場で実行していく能力を高めていくことが期待されております。

今年で第17回を迎える本研修のカリキュラムでは、病院経営に必要な基本知識から、医療会計制度の現状、事務長として必要なコーチングとファシリテーションの基礎と応用、院内業務の再設計、経営改革計画の策定、共通課題検討など、事務長職に必要とされる幅広い分野を網羅し、過去の受講生の声を反映させながらカリキュラムを毎年更新しており、より実践的な能力を身につけることができる内容となっております。

本研修では、職能練磨のための講義・演習等を行い、全受講生が「自院の経営計画」を策定し、その経営計画を実行する上での課題を共通課題として検討します。さらに、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

各病院におかれましては、すでに事務長の育成・強化のために種々ご配慮をなされてきておられると思いますが、現下の厳しい病院経営環境の中、健全な病院経営・管理の維持・向上のために、皆様からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。



公益社団法人 全日本病院協会

全日本病院協会 医療従事者委員会



医療法人社団汐咲会
井野病院
富永 知加子

「研修を終えた今、思うこと」

研修を終えて振り返ってみると、とても充実した1年でした。事務長として必要とされる能力について、多岐にわたり教えていただきました。毎回の課題提出は想像以上に大変でしたが、全て自院の経営改革の為の課題ですのでやりがいもありました。実際の自院の問題点も浮き彫りになりましたし、ありがたい姿の実現に向けて、課題をどのように解決し、推進していけばよいのかという道筋も見えてきました。ここが、今まで受けた研修とは大きく違うところです。自院で活用できる経営改善や改革の手法について自院の実例を通して体得でき、実りある研修でした。

このような素晴らしい研修に私を送り出してくれた上司である理事に感謝するとともに、その期待に応えられるよう努力していきたいと思います。これからが本当の意味でのチャレンジです。

また、全国に仲間ができたことが、私にとって何よりも大きな財産となりました。皆、エネルギーで前向きな姿勢に凄く刺激を受けました。このネットワークをこれからも大切にしていきたいと思います。

最後になりましたが、池上先生・萩原先生・田中先生そして全日病の事務局の方々、16期生の皆様、大変お世話になりました。これから先もよろしくお願ひ致します。



鳥取医療生活協同組合
鳥取生協病院
安田 昌文

「これからに生かせる知識と繋がり」

医療技術部門からの異動で、あまり事務系業務の経験も無い中で、事務長職に就き、少しでも知識や経験を豊にすることができればと思い、上司の後押しもあって当講座を受講しました。

受講した感想は、病院を運営していく上での基本的な概念として、理念を中心として事業計画、それを基にした組織運営等を中心的に学び、そのために必要な課題抽出、分析、対応策を検討するための思考方法など、大変多岐に亘る内容で、かなりの時間と労力を必要としましたが、得るものの多い研修でした。

今後はこの研修で学んだことを、自院の運営にいかんにか生かしていくのが大きな課題となってきます。全国各地の事務長や事務長候補の方と知り合いになることができ、情報収集の人脈も広がり、お互いにより良い医療経営を行っていく上での協力者ができたことも大きな収穫でした。この講習で得た知識とつながりを大いに深め、広げていけたらと思います。



社会福祉法人
恩賜財団 済生会みすみ病院
山口 隆一郎

「これからが本番、次のステージへ・・・」

タイミングよくこの研修期間中に私の人事異動があり、また休日問わず公私に忙しい中、試験、宿題続きのハードな研修を無事乗り切り、今は安堵感に浸っています。その分、収穫の多い充実した研修でした。当会からこの研修に参加したのは私が初めてであり、幹部候補生には是非この研修を薦めたいと思っています。

事務長職として必要な問題・課題解決のための手法、経営戦略と組織管理のあり方、医療資源のマネジメントの内容は非常に勉強になりました。今後「論語読みの論語知らず」で終わらないよう、病院の将来構想を検討していく上で実践に役立てていくことが次のステップであり、これからが本番であると認識しています。人口減少、中でも生産年齢人口の著しい減少は、人材確保、患者確保の両方の点から病院経営に大きな影響が出てくることは目に見えています。この研修で習得した私の中でのKey Word「非連続な発想」を常に意識し、混沌とした世の中から何かしらの光を見出したと思っています。

最後に、講師の方々、全日病の事務局の方々、そして16期生の皆さんには大変お世話になりました。この研修で多くの方に知り合えたことを機に、これからさらに交流を深めていけたらと思っています。

平成30年度 第17回病院事務長研修コース (病院管理士認定)

[受講申込書]

		記入日	平成	年	月	日	
受講者氏名	ふりがな					年齢	印
E-mailアドレス (個人)	※事務局からのご連絡は主にE-mailにて行います						
役職名	左記役職での経験年数		現在の病院での勤務年数		他の病院も合わせた勤務年数		
	年	ヶ月	年	ヶ月	年	ヶ月	
病院名					会員 ・ 非会員		
病院所在地	〒 ー						
TEL	FAX						
ホームページURL							
経営主体							
種別	一般 () 床	医療療養 () 床	介護療養 () 床	精神 () 床	感染 () 床	結核 () 床	
理事長名	院長名						
応募理由 (いずれかに○)	① 理事長・院長より勧められて		② 自身で理事長・院長へ提案				
	③ 他の人に勧められて(推薦者		④ その他(
志望動機	例) この研修を受講して、理事長院長に自信をもって経営計画に提案したい など						

応募要項

1. 受講要件 同封のパンフレットをご参照下さい。
2. お申込み方法
 - ① 本申込書に必要事項をご記入の上、「承諾書及び誓約書」と一緒にFAXにて事務局までお送り下さい。
 - ② 申込書受理後、「確認書(受講料お振込みのご案内)」をFAXにてご送付致しますので、内容をご確認のうえ受講料を平成30年5月7日(月)までにお振込下さい。受講料の返金につきまして、平成30年5月7日(月)以降に参加をキャンセルされた場合は全額返金できかねますのでご了承ください。申込書をFAX送信後7日たつて確認書が届かない場合は下記の事務局までご連絡下さい。
 - ③ おって、受講者の簡単な経歴等をお伺いする為の「研修前調査票」をメールにてお送りいたしますので、必要事項をご記入の上ご返信下さい。
3. お申し込み締切日
平成30年5月7日(月)
※定員に達し次第、受付を終了させていただくことがございます。
4. 病院情報及び調査票情報の利用目的
 - ① 研修において、自院の課題を分析する為に病院の情報を利用する事がございますが、研修の関係者とは機密保護の契約を結んでおりますので、病院の情報を本研修の目的以外に使用することはございません。※上記に基づき、別紙の「承諾書及び誓約書」にご捺印の上、本申込書と一緒にFAXにてお送りください。
 - ② 研修前にご提出いただく「調査票」は、講師が受講者情報を把握する為、また、受講者間での交流の為に利用します。調査票の内容を、本研修の目的以外に使用することはありません。
5. 研修会場及び宿泊施設
 - 第1単位 ホテルヴィラフォンテーヌ東京汐留
※宿泊手配は全日病事務局にて行ないます。
〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2汐留住友ビル内 TEL03-3569-2220
【アクセス】○汐留駅(ゆりかもめ)改札を出て右方向へ。歩行者デッキを通り、汐留住友ビル2F入口より徒歩1分
○汐留駅(都営大江戸線)ゆりかもめ汐留駅方面の改札を出て10番出口方向へ進み、汐留住友ビル地下入口より徒歩1分
○新橋駅(JR、銀座線、都営浅草線)汐留口より出て、シオサイト方向(地下1階)へ進み、大江戸線汐留駅10番出口方向へ徒歩6分
 - 第2単位~第8単位 全日本病院協会 大会議室
〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7F
TEL 03-5283-7441
【アクセス】○JR線・都営三田線「水道橋駅」東口より徒歩4分
○半蔵門線・都営新宿線・都営三田線「神保町駅」出口A4より徒歩8分
○JR線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩10分
※第2単位以降に宿泊が必要な場合は、各自でご手配ください。
※第1単位の宿泊は禁煙室のみとなります。
6. お申込み、お問合せ先
公益社団法人全日本病院協会 事務局
病院事務長研修コース担当 上田・向井
〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7F
TEL 03-5283-7441 (受付時間: 土日祝を除く9:30~17:30)
FAX 03-5283-7444

承 諾 書

公益社団法人全日本病院協会が主催する「第17回病院事務長研修コース」において、研修会の目的の範囲内において、当施設から受講する者が、当施設の院内データを使用することを承諾いたします。

平成30年__月__日

施設名：_____

代表者氏名：_____ 印

誓 約 書

私は、公益社団法人全日本病院協会（以下、全日病）が主催する「第17回病院事務長研修コース」において知り得た他施設の情報を、当研修会の目的以外で使用しないことを誓約いたします。

平成30年__月__日

施設名：_____

受講者氏名：_____ 印

上記承諾書及び誓約書にご署名、捺印いただき、受講申込書と一緒にFAXにてお送りください。

※1 承諾書につきましては代表者氏名及び代表者印を捺印ください。

※2 誓約書につきましては受講者氏名及び受講者の認印を捺印ください。